

平成 28 年度まちづくりアンケート結果【概要版】

1 調査の目的

市政に対する市民ニーズ、市が実施する事業に対する考え方、意見、満足度などを調査し、今後の施策の基礎資料とするもの（昭和 57 年度から毎年度実施）

2 調査の概要

調査対象：長野市内に在住の 18 歳以上の男女

標本総数：5,000 人【住民基本台帳から等間隔無作為抽出】※うち外国籍住民 43 人

調査期間：平成 28 年 10 月 25 日（火）から 11 月 8 日（火）

回収結果：3,132 通

回収率：62.6%（平成 27 年度：63.4%）

3 調査の内容（設問順）

- 健康に関すること（保健福祉部 長野市保健所健康課）・・・・・・・・・・ P 3
- 公園での犬の散歩について（都市整備部 公園緑地課）・・・・・・・・・・ P 5
- 空き家対策について（建設部 建築指導課）・・・・・・・・・・ P 7
- 人口減少対策に関わる意識について（企画政策部 人口増推進課）・・・・・・・・ P 9
- 行政施策の満足度、優先度などについて【その他】含む※（企画政策部 企画課）・ P 10

4 端数処理

- ・調査結果の数値は、原則として百分率で表記した。百分率の値は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位まで表記している。従って、内訳を合計しても 100% に合致しない場合がある。
- ・アンケートへの回答は、単数回答と複数回答を求めた設問があり、複数回答を求めた設問では、比率の合計が 100% を上回る場合がある。

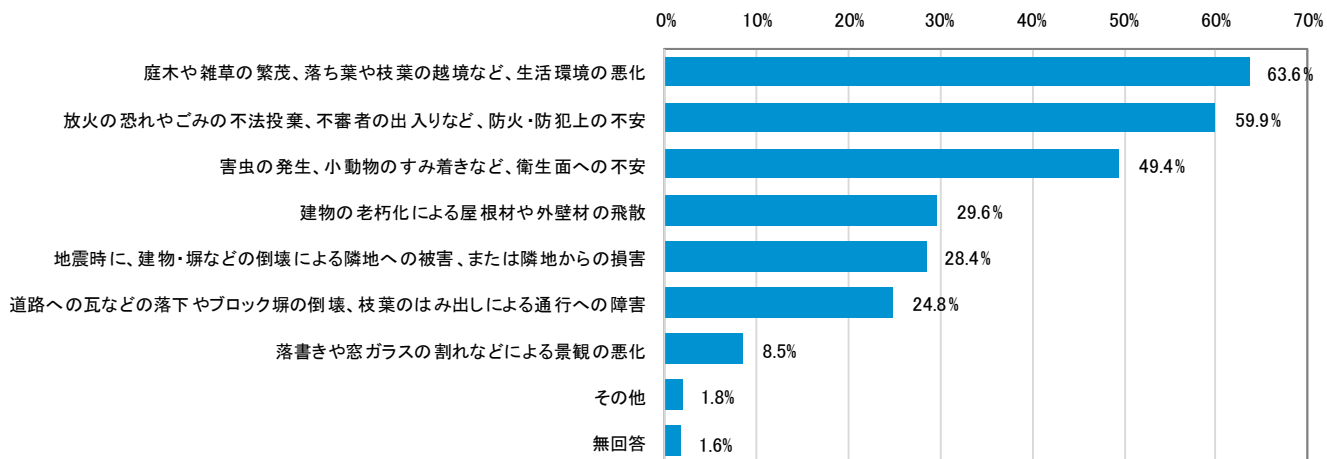
結果の概要

空き家対策について

空き家増加による懸念

「生活環境の悪化」「防火・防犯上の不安」が約6割

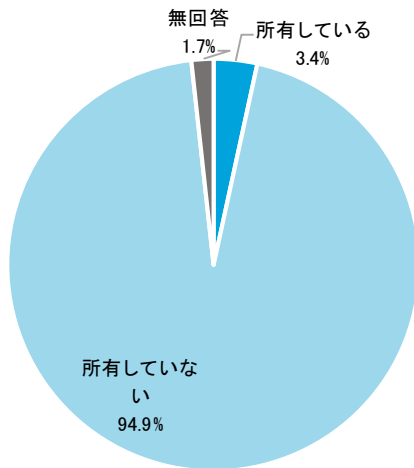
問 10 今後、空き家の増加が見込まれます。お住まいの地域で空き家が発生した（している）場合、どのような問題が懸念されますか。



空き家の所有

「所有している」は3.4%、「所有していない」は9割りを超える。

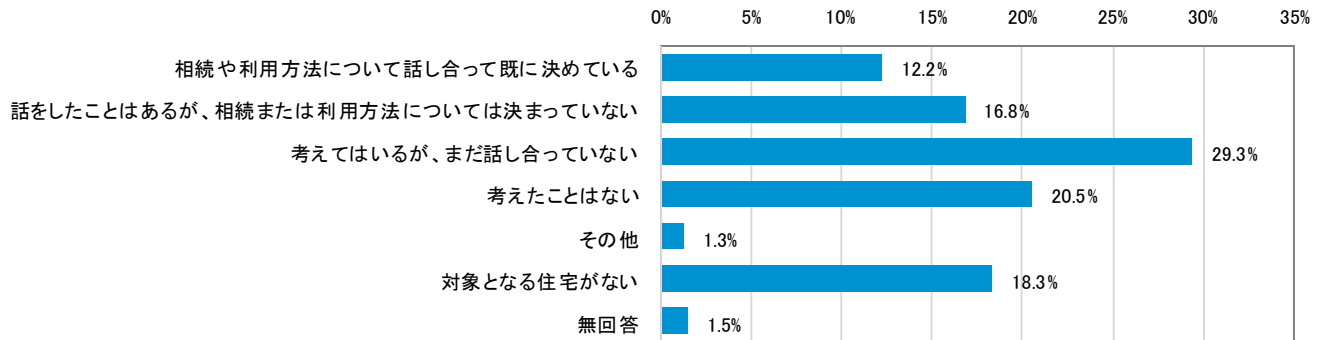
問 11 あなたは現在、市内に空き家を所有していますか。



相続による住宅

「考えているはあるが、まだ話し合っていない」が約3割

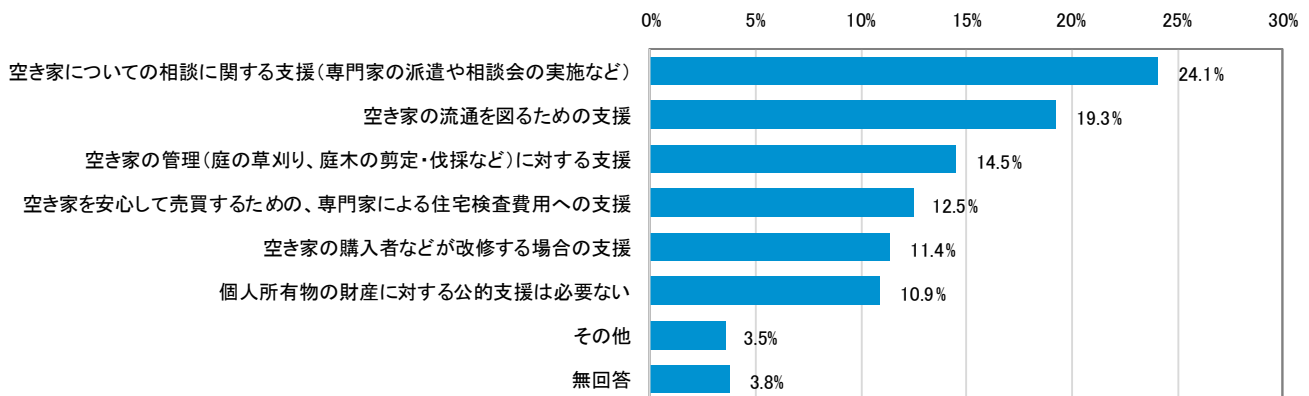
問 12 空き家が発生する理由として、相続して取得した住宅がそのまま空き家になることが多いといわれています。あなたがお住まいの住宅あるいは親の住宅について、家族で話し合ったことがありますか。



空き家数増加の改善支援

「空き家についての相談に関する支援」が約4分の1

問 13 空き家が増加している現状を改善するためには、どのような支援が必要だと思いますか。



危険な空き家の除去

「危険の程度に関わらず、経済的に困窮している人には補助をしてもよい」が約4割

問 14 危険な状態となっている空き家に対する除却費用の補助についてどう思いますか。

